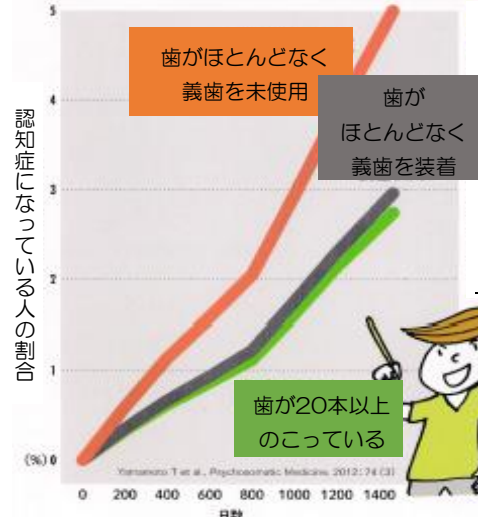




よく噛めるお口で「目指せ☆アクティブシニア！」

「いつかちゃんと治療しなくちゃ」と気になりながら、「とりあえず痛いところだけでいいや」と、しっかり治すための治療を先延ばししていませんか？
 将来、**低栄養状態**や**認知機能の低下**のリスクにならないように、必要な治療を終わらせ、**定期的なメンテナンス**でよく噛めるお口を維持しましょう。

噛めるお口が重要なわけ その① よく噛める人は認知症になりにくい



認知症を発症していない65歳以上の人のその後を追跡調査。
歯がほとんどなく入れ歯も使っていない人のほうが、自分の歯で噛んで食べている人より認知症の発症率が高くなっています。

一方、歯がほとんどなくても入れ歯を使って噛んでいる人の場合は、**自分の歯で噛んで食べている人とほとんど同程度に発症が抑えられていることがわかりました。**



噛めるお口が重要なわけ その② よく噛めない人は低栄養状態になりやすい

深刻なのは、肉を噛むのが苦手になることによって起きるたんぱく質不足。
 たんぱく質不足による低栄養状態は体力の低下を引き起こし、高齢者の自立度を下げる大きな要因となっています。

- 低栄養状態になると
- 体重が自然に減る (とくに半年で2~3kg減で要注意)
 - 風邪を引きやすく、なかなか治らない
 - 肌や粘膜に炎症を起こしやすい
 - 転んだり、つまずいたりしやすい

たんぱく質不足に!

からだにいい食材を選んでも、肝心の歯が悪くて噛めなかったら**効果半減!**
 将来、シニアライフをいきいきと過ごすには、よく噛めるお口が**重要**なんです。TC阪口

ProDentis プロデンティス 30錠 **通常3,240円⇒10%OFF税込2,900円!**

全身の健康管理は、お口からはじまります。口腔内の菌質管理のために、
 生きたL.ロイテリ乳酸菌入りタブレットです。

【予告】2月は**コンクールFが100円OFF!**